

令和8年度

# 事業計画書



# 目 次

令和8年度 事業計画

事業計画の重点.....	1
事業計画.....	2
I. 交通及びその安全に関する調査研究.....	2
II. 交通及びその安全に関するシンポジウム.....	3
III. 交通及びその安全に関する広報及び出版.....	3
IV. 交通及びその安全に関する活動に対する褒賞及び助成.....	3
V. 諸外国における理想的な交通社会実現のための国際交流.....	4

## 事業計画の重点

理想的な交通社会の実現に寄与することを目的とし、  
〈国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業〉を行う。

1. 交通及びその安全に関する研究調査
2. 交通及びその安全に関する研究会の開催
3. 交通及びその安全に関する情報、資料及び文献の収集及び発行
4. 交通及びその安全に関する研究調査、教育その他の活動に対する褒賞及び助成
5. 諸外国における理想的な交通社会実現に向けた研修
6. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(展開に当たっての基本的な考え方)

1. 学際性並びに国際性を特徴としての、先見性及び実際性を目指す活力ある事業の展開
2. 社会の変化をとらえつつ、予定される収入を基とする効率的かつ均衡のとれた事業運営の継続

(今年度の重点施策)

1. 研究調査事業の整理と進化
  - ・ビジョン実現に沿った研究プロジェクトの選定
  - ・メリハリをつけた研究プロジェクトの内容の精査
2. 国際共創事業の強化
  - ・タイATRANSとの国際共同研究、内閣府への貢献
  - ・フィリピン、カンボジアにおける国際共同研究企画
  - ・国際シンポジウム再開の企画
3. 部会を超えた事業の進化と効率化
  - ・英文論文査読と褒賞審査の連携
4. フォーラム現地委員会活動の進化
  - ・現地体制現状把握と課題整理
  - ・参加国参加人数の検討

## 事業計画

項 目	予 算 (円)
国内外の「交通とその安全」にかかわる社会貢献事業	850,263,000

内 容
<p><b>I. 交通及びその安全に関する調査研究</b></p> <p>1. 次の方針を維持して運営する。</p> <p>1) 本会の目的である理想的な交通社会の実現に寄与するという原点に立ち、特徴である学際的かつ国際的な研究調査テーマに取り組む。</p> <p>2) 研究調査の成果については、社会への発信に加え、実践及び具現への提言を積極的に行う。</p> <p>2. 研究調査部会の選考に基づくプロジェクトを展開する。</p> <p>自主研究、行政/団体連携、社会貢献の各領域におけるプロジェクト※を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会/技術の環境変化を捉えた研究</li> <li>・ IATSSフォーラムと連携した研究</li> <li>・ 若手研究者の育成に資するプロジェクトの運営(国際発表等)</li> </ul> <p style="text-align: right;">※15本程度実施</p> <p>3. 国際共創部会にて海外諸団体との連携、協業、共創の枠組みを検討し、推進する。海外の研究機関等と連携し、国際共同研究を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タイにおけるATRANS、JICAとの国際共同研究の推進</li> <li>・ フィリピン、カンボジアにおけるJICAとの国際共同研究の企画</li> </ul> <p>ベルギーの交通安全研究所“Vias institute”の所掌する共同研究プロジェクトESRA4(交通行動に関するe-survey)を継続する。</p> <p>タイ“ATRANS”への業務委託を通じ、研究調査活動を継続する。</p> <p>4. 研究調査事業の成果報告会を開催する。</p> <p>研究調査活動の成果を学会内で共有/議論し(研究調査内部報告会)、特に成果が認められた活動については研究調査報告会にて広く社会へ公開し社会貢献の一助とする。</p>

## 内 容

### Ⅱ. 交通及びその安全に関するシンポジウム

交通とその安全に関する研究成果を広く社会に発信することを目的に、国際シンポジウムの開催を企画する。

### Ⅲ. 交通及びその安全に関する広報及び出版

交通とその安全に関する研究成果を広く社会に発信することで、会員及び海外を含む研究者・学識経験者の知識交流の場を提供するとともに、本会の活動を広く認識してもらうために、以下の活動を推進する。

1. 「IATSS Review：国際交通安全学会誌」を刊行する。
2. 「IATSS RESEARCH：英文論文集」を電子ジャーナルとして出版する。
3. 研究調査成果及び広報資料を発行する。
4. 英文コンテンツの充実をはじめ、Webを活用した国内外への積極的な情報発信を図る。

### Ⅳ. 交通及びその安全に関する活動に対する褒賞及び助成

1. 交通及びその安全に関する「業績」「著作」「論文」の各部門で選考し、学会賞贈呈式にて授賞する。
2. 小学生・中学生・高校生等を対象とした交通安全教育活動を支援する助成を行う。

## 内 容

### V. 諸外国における理想的な交通社会実現のための国際交流

40周年にあたって設定された「IATSSフォーラムビジョン2025」実現に向け、以下の施策を推進する。

1. フォーラムの選考等に関して現地体制の強化を行う。
  - 1) 各国現地委員会の現状把握と課題整理
  - 2) フォーラム参加国、参加人数の検討
  
2. IATSSフォーラム研修を2回実施する。
  - 1) 開催期間  
第69回 5月26日から7月21日までを予定  
第70回 9月22日から11月17日までを予定
  - 2) 参加国  
以下10か国から計40名の参加を予定  
インド、インドネシア、カンボジア、  
シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、  
マレーシア、ミャンマー、ラオス